

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	2570101606
法人名	ウェルフェア株式会社
事業所名	グループホーム雅荘
訪問調査日	平成21年3月26日
評価確定日	平成21年3月30日
評価機関名	特定非営利活動法人福祉経営ネットワーク

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
[取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
[取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2570101606
法人名	ウェルフェア一株式会社
事業所名	グループホーム雅荘
所在地	滋賀県大津市坂本6-32-49 (電話) 077-579-5333

評価機関名	特定非営利活動法人福祉経営ネットワーク		
所在地	東京都千代田区九段北4-1-9		
訪問調査日	平成21年3月26日	評価確定日	平成21年3月30日

【情報提供票より】(21年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤13人, 非常勤1人, 常勤換算13.6人	

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	2 階建て	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	84,000 円	その他の経費(月額)	27,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(400,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	200 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(2月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	7 名	女性	11 名
要介護1	8 名	要介護2	3 名		
要介護3	5 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81.8 歳	最低	66 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	大津赤十字病院・堺医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設後3年9か月を経て、職員も定着してきており、理念としている「その人らしく健康に、快適に、安心に」を主眼に運営がなされている。住宅地の中にあるホームであり、近隣との交流も徐々に進みつつある。地域との相互の行事や清掃等にも参加して連携が進められている。今年度は介護計画の策定にあたり家族の意見をアンケートで集め、要望や意見を直接把握して成果があがっている。全体として家庭的な穏やかでゆったりとした雰囲気のあるグループホームとなっている。1、2階それぞれをユニットとしているが、やはり2階の利用者が外出しにくい様子が見られている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員の育成の個別ニーズを把握して研修を実施する点は外部研修の参加と報告共有が行われているが、内部での勉強会がやや不十分に終わっている。共同空間の明るさや色彩の点については植木と花を配置することで改善され、湿度も保持される効果が感染症の予防にも貢献したという副次効果も得られている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>それぞれのユニットで全職員が自己評価を行い、ユニットごとに検討・合議をして、まとめたものができている。2つのユニットでの評価が相違している点もあり、互いの気付きや反省点などが見出されている。相互に良い刺激となっているという。今後の、検討すべき課題も見出され、改善の方向が見られている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>今年度は、運営推進会議は5回開催された。ホーム内の利用者状況・業務の取り組み状況などの報告などを行い、各種の助言が得られている。地域ネットワークの紹介を始め、長崎のグループホームの火災に対応したスプリンクラー設置助成金や介護保険の制度改訂の情報などがもたらされている。地区運動会への参加も、この推進会議で奨められたものである。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>玄関に意見箱を設置し、苦情解決制度も示している。また家族宛に、2ヶ月に1度の職員が自筆で書いた利用者の状況報告書や施設通信などの送付により、家族と密接な連絡ができている。平成21年から、市の介護相談員が来訪し、利用者との個別対話が行われている。必要があれば、家族の相談にも活用できるとの事である。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の自治会の運動会や盆祭りに参加したり、琵琶湖一斉清掃への協力を行うなど交流が進められている。また、近隣の住民からの来訪も増えつつあり、ホーム前の餅つき大会や消防の避難訓練にも参加や訪問があったとの事である。公民館の異業種福祉交流会にも加わって、役割を果たしている。一方、利用者が日常的に近くの商店を利用したり、買い物などの外出も多く近隣の認知度が高まっている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしく健康に、快適に、安心に」の理念の下、利用者や家族の希望に最大限こたえようと努めている。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	新入職員には、導入研修で説明している。ホーム内には、玄関に掲示され、各種の会議において、管理者やリーダーが理念の再確認を行っている。パンフレットや広報誌にも記載している。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の盆祭りや自治会の運動会などに参加している。ホームでのもちつきに、近隣の人の参加や汁粉を配ったりの交流もある。避難訓練には、民生委員の立会いもあった。利用者が近隣の商店での買い物や散歩の時に声かけがあったりと、住民に受け入れられつつある。	○	近隣の自治会の班との「事故災害時における相互支援の申し合わせ」などを行うことを検討されたい。近隣の高齢者の家の火災時の避難場所や休息・介護場所としての提供、ホームの火災や事故の時の近くの人々の支援などである。地域密着型施設としての望ましい姿と思われる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前年度の自己評価・外部評価の意義を勉強会で確認し、業務の改善を進めてきた。その反省を踏まえ、今年度の自己評価をユニットごとに作成した。課題や反省点が見出され、継続的な改善が重要なことが理解されている。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は、運営推進会議は5回開催された。ホーム内の利用者状況・業務状況の報告を行い、各種の助言が得られている。地域ネットの紹介を始め、長崎のGHの火災に対応したスプリンクラー設置助成金や介護保険の制度改訂の情報などが得られている。地区運動会への参加も、この推進会議で奨められたものである。	○	当会議の議事録だけではなく、その後の活用や見直しのために記録の整理が必要である。会議の添付資料であったり、発言詳細内容を残すことも重要である。その他の業務記録においても、後で簡単に見られるようなファイル方法や目次が必要である。事故やひやりはっと報告などは、取りまとめ集計して、再発防止のアクションにつなげるなどの活用が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括センター主催の勉強会などに参加して、職員の質の向上に取り組んでいる。市主催の高齢者関係事業所向けの「情報提供会」に参加し情報を得ると共に、ホームの情報提供の場としても活用している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族宛に、2か月に1度郵送している。その内容は利用者の心身の状況とその変化について職員が自筆で書いた「状況報告書」や施設の通信・行事連絡などの送付により、家族と密接な連絡ができています。預かり金については、毎月出納帳とレシートを送付するようにしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付の説明書と意見箱を玄関に配置した。平成21年から市の介護相談員を活用することも連絡し、利用者だけでなく家族も活用できるをらせている。家族あてにケアプランに関するアンケートを送り、ホームに対する希望や意見なども収集している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	今年度職員の異動は少なく、非常勤の職員の異動だけであった。職員が変わる場合は、利用者のとまどいが起きないように、常時1・2階職員が相互に出入りするなどの配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新入職員は当初に研修を行い接遇・規律・留意点やホーム特有な点も教えている。社協やGH協会の外部研修に参加し、受講後にホーム内での報告をして共有するようにしている。内部研修(勉強会も含む)は、あまり進んでいない。	○	内部研修(内部勉強会)を計画し、進められたい。長時間の研修でなくても、マニュアルや資料の一部の勉強会や実習などによるOJTなども含んだ実務的能力のレベルアップに期待するものである。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に参加し、同業者と交流する機会を持っている。他事業所と職員の相互訪問で、知識・情報を入手することによりサービスの質の向上を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前にできるだけ家族とともに、見学に来るように依頼している。お茶を飲んで、利用者の状況や暮らしなどホームの雰囲気を確認するようにしている。入居にあたって、自宅での生活の馴染みのものをできるだけ持参し、居室を和やかなものになるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	毎日の献立は利用者が決めて、買い物に行っている。調理や味付け、配膳など手伝える人が行っている。外出も可能な限り希望に対応している。利用者が自分で決めた役割が行われている。(新聞とり、モップかけ、洗濯物干、たたみ、アイロンなど多岐にわたっている)		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の希望や意向について日常的に耳を傾ける姿勢を貫いていることに加え、職員側でも利用者の意を汲んで支援しようと努めている。日程や職員体制、金銭面等で意向に応えられないような要望についても一度は受け入れ、代替案を考えて実施するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	今年度家族に向けて介護計画に対するアンケートを実施した点は評価できる。その結果を考慮してケアプランの内容の充実に努めた。	○	介護計画作成の際に利用者を取りまく関係者に意見を募る取り組みは、一部の利用者にはできているが全員に至っていない状況となっている。一方、今年度実施した家族向けアンケートでは今後も介護計画作成の話し合いへの参加を希望する家族も複数存在しているので、一連のしくみを明確にしていくことが有効である。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	個別の利用者の生活記録のフォーマットには冒頭に介護計画の目標が印字されており、日々の支援が介護計画と連動するようになっている。また、毎月末のモニタリング実施と3か月毎の介護計画の見直しの仕組みが定着している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	「その人らしく」生活を送ることを尊重するホームであり、その理念のもとで利用者や家族の希望に最大限こたえようと努めている。たとえば、家族が利用者の居室に宿泊すること等を認めている。	○	ターミナルケアについての方針は、現在のところ医療連携体制等の課題があるため検討中となっている。なお、利用者や家族のニーズがどのようであるかを把握することが求められる。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の選択については、入所する際に利用者や家族の意向を確認し、必要に応じてホーム側から紹介して選択してもらうようにしている。従来のかかりつけ医を継続する場合も通院支援等柔軟に対応している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	今年度も利用者が入院するケースがあったが、利用者家族とかかりつけ医と連携をとりながら対応を決定した。その他病状などについて情報共有して支援方針を個別に決めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者への声かけ方法は自然体で行うことを貫いており、具体的に検討が必要な際はフロア会議や職員会議の機会に検討して統一を図っている。記録類は他の利用者の目に触れない場所で管理している。	○	職員の声かけ方法や利用者のプライバシー保護に対する姿勢を定期的に振りかえるしくみづくりや、具体的な行動を標準化する取り組みの充実を行うことが有効と思われる。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者によって日常的な役割が決まっているケースもあるが、それらは職員側で決めたものではなく利用者側のこれまでの生活習慣の延長上にあるものとなっている。共有スペースにはソファやベンチが用意されており、一人でゆっくりと過ごせる場所も用意されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日午前と午後の2回フロア別で利用者と職員が買い物にでかけ、購入した食材の調理、配膳、片付けに至るまで一緒に行っている。献立も毎日記録して偏った食事とならないように注意している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一般浴とリフト浴の2種類が用意されているホームであり、フロアの違う利用者でリフト浴を使用する場合もある等、柔軟に対応している。一般浴で入浴剤を使用したり、浴室に音楽を流してリラックスしてもらうことで楽しんでもらうように努めている。	○	利用者の身体機能の低下等により、実際のところ入浴希望どおりに入浴介助をすることが困難な状況となっている。引き続き入浴の機会を用意することに取り組まれたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯やアイロンがけ、裁縫などといった、利用者がこれまでの生活で得意としていたり習慣となっている領域を担当してもらっている。また、生活歴を参考にして園芸等の機会を用意している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出チェックシートを今年度から導入し、積極的に外出の機会を創り出した点は評価できる。ホームでは車3台を用意し、フロア毎にドライブする機会等も作りやすい状況となっている。	○	2階のユニットについては、1階に降りることと外出することという2つのステップがあるため外出頻度を増やしやすい状況となっているのでさらなる取り組みが期待される。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関については防犯上の理由で夜間の時間帯や1階に職員が不在の際に施錠する必要があるが、その場合は不在であることを示して利用者に理解を促している。階段の扉やエレベーターの施錠は行っていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	今年度は夜間想定避難訓練を実施したり、民生委員の方にも避難訓練に参加してもらいホームでの体制について理解してもらった。さらに備蓄をホームの利用者以外に地域の人々のためにも準備して充実を図った。	○	緊急事態が発生した時に全職員が具体的な行動をとれるようなマニュアルを完成させ、浸透を図ることが求められる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>医師との連携をとり各利用者に適切な食事量や水分摂取量を決めており、日々の生活記録では特に水分摂取量について欄を設けて把握している。</p>	○	<p>日々の食事のカロリー摂取量について一定の期間を定めて把握し、栄養バランスについて確認する取り組みが有効と思われる。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に応じた花をフロア等に飾ったり、日当たりのいい時間帯にカーテンを開けて庭の風景を楽しんでもらったりしている。テレビの音量は小さめに設定することで日常生活に支障が出ないように配慮している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にはあらかじめエアコンとカーテン、収納が備え付けてあるが、それ以外は火気を除き、馴染みのある生活用品を持ち込んでもらうようにしている。</p>		

【事業者名称】グループホーム雅荘 1Fユニット

21年 1月 29日評価実施

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしく健康に・快適に・安心に」の理念の下、日々ケアにあたっている。		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入社時に理念の説明を行い、勉強会時にも理念の再確認を行っている。		
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	パンフレットに理念を掲載し、玄関にも理念を掲示している。また、今年から作成が始まった広報誌にも理念を記載している。		
理念と共有 3項目中 3項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	買い物時や散歩時に挨拶をしており、気軽に立ち寄っていただいている。		
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会や地域の運動会に参加させていただき、近隣の方には雅荘での行事にも参加していただいている。		
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	坂本市民会館を通じ坂本地区の事業所が集まり、地域への貢献方法を話し合っている。		
地域とのつきあい 3項目中 3項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前年度の評価を基により良くなるよう会議で見直してはいるが、全ての見直しが行えてはいない。	○	整理表や計画表を基に見直しを行っていききたい。
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日頃の活動報告や取り組みを運営推進会議で話し合い、各種助言等をいただき、サービスの向上に活かしている。		
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センター主催の勉強会等へ参加し、質の向上に取り組んでいる。		
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を利用されている方がいるのもあり、会議等により学ぶ機会が多かった。		
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議等で、勉強している。わからないことや、身体拘束に当てはまる恐れのあるものは、その都度管理者を交えて話合っている。身体拘束に当てはまる恐れのあるものは、家族に説明の上同意書等いただき行っている。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 4項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用開始前から説明を行い、利用開始時に重要事項説明書や契約書により説明し、随時確認をとりながら話している。		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設け聴衆に努めている。また、施設内にも掲示板にて告知し、今年から介護相談員の派遣事業の受入も行っている。		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	2ヶ月に1度、写真を同封したお便りを出している。また、お預かりしているお小遣いも出納帳と領収書を郵送し確認をいただいている。面会時にも、暮らしぶりなど報告・相談し		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム玄関にて苦情受付の説明を提示している。平成21年から、月に1度介護相談員に来ていただいている。		
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に行われる法人内の管理者会議や事業所の会議を通じて意見交換等がある。		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	月毎の勤務表にて職員を配置し、必要に応じて臨機応変に対応できるように話し合っている。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフの異動は必要最低限に控え、異動が必要な時も検討を重ねている。		
理念を実践するための体制 7項目中 7項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社時にオリエンテーションで研修を行い、県社協やGH協会の研修に参加している。		
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に参加し、同業者と交流する機会を持ち、他事業所と相互訪問等を通じサービスの質の向上に取り組んでいる。		
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	経営者も参加しての法人内での忘年会を行い、経営者自ら職員の意見の聴衆を行い、ストレスの軽減に取り組んでいる。		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	1Fユニットでは毎月の会議時に月間個人目標を定め、意識を持って仕事に取り組めるようにし、各自が向上心を持って働けるように努めている。		
人材の育成と支援 4項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の面接時にゆっくりと時間をかけて話をしている。		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前や見学時に、ご家族への面識で不安なことや希望している事を十分に聞けるように配慮している。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の状態を加味し、各種のサービスがあることを説明している。また、マッサージなど希望されれば、医師等に相談している。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に出来るだけ見学に来ていただき、ホームの雰囲気等を確認していただいている。また、ご本人の生活内容に添えるように馴染みのものなど利用している。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者主体で生活をしていく事を念頭に置き、調理時にアドバイスを頂いたり共に過ごしている。		
28		<input type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事等、ご家族と一緒に過ごせる機会を作り、その他面会時や便りなどで近況報告を含めより良い関係を作っている。		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	2ヶ月に1度、写真を同封したお便りを出している。		

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取 組んで きたい 項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前より利用していた、美容院や寺などに同行して行っている。		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者が1人で座っておられる際はスタッフが横に座り他の利用者と話やすいように援助している。		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	以前入居されていた方が遊びにこられている。その際はお話を伺ったりしている。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 5項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご自身より訴えられる事は少ないので職員より伺うようにしています。希望があれば、職員にて話会い実行できています。		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	嫌いな食べ物や暮らし方等ご本人より伺った際は記録にか書き、職員間で把握できるようにしている		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の体調の変化は記録に書き各職員にて把握し話し合っている。又、日々の過ごし方を総合的に把握できるように会議で話し合っている。		
一人ひとりの把握 3項目中 3項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の意見を反映させれるようにプランの作成を行っている。	○	ご家族・各関係者など含めて話合っていない。まず、ご家族の希望を常に聞けるようにしていく。又、ケアプランに関するアンケートを実施したので活用したい。
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月ケアプランの実行に対し評価を行い、必要に応じて見直している。作成後ご家族に説明している。		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りや記録などで、統一した対応をしている。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 2項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者やご家族の希望や要望に応じて出来る限りの支援を行っている。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議で民生委員から地域の行事や取り組みについて意見をいただき、避難訓練時に民生委員も参加して下さった。		
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要性がある場合は地域包括支援センターが主となり話し合いを行っている。		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	困難事例や必要に応じて地域包括支援センターと話し合いを設けている。		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者またはご家族の意見にて、主治医を決定している。		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	日々の変化を主治医に報告しています。必要に応じて専門医療機関に通院している。		
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者がかかっている医療機関の看護師と状態等を相談しながら、健康管理の支援を行っている。		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院された場合は病院関係者を含めたカンファレンスを必要時に設けている。		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合に家族を含めた関係者と密に話し合いを行い、利用者にとってより良い支援方法を話し合っている。		

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者の健康状態をスタッフからの視線と主治医からの視線で話し合い、取り組んでいる。		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退去時等に関係者と協議し極力ダメージを防ぐように努めている。		
地域資源との協働 10項目中 10項目					


自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	記録は個人ファイルに整理・保管し、事業所外に持ち出さない。又、利用者の相談など他者に聞こえないように配慮している。		
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の自己決定を尊重して生活している。その人の能力に合わせた対応をし、決めていただいている。		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	事業所の理念でもある「その人らしく」を前提に接しており、個々のペースで一日を過ごしていただいている。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望のある方には、ご本人の望む店に行き、希望のない方にはご家族に相談して支援している。		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューの希望をお聞きし、一緒に買い物へ行っている。調理できない方も横に座って頂き雰囲気味わっていただいたり、味見をしていただいている。		
55		<input type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	医師の指示に従い提供しているが、基本的にはご自由にいただいている。事業所としても各種用意しています。	○	お酒に関しては提供できていない。飲まれない方や飲みたいけど飲めない方への配慮・対応を検討してみたい。
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	失禁等多い方でも排泄チェック表にて排泄パターンを把握しトイレにて排泄できるようにしている。個々に合わせたパット等使用し、ご家族とも相談している。		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	他の利用者との兼ね合い、希望された時間・日に入れないこともあるが、いつ入れるかお伝えしている。基本的にいつでも入れるようにしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	就寝や起床時間を決めずに、利用者の意思で休んで頂いている。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 5項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物やアイロンがけ・裁縫など生活に関する事は、個々の役割を持って生活していただいている。		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	日常的な買い物などご本人のお金にて、いつでも買えるようにしている。		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望にそった外出等行けるようにしている。外出に偏りがないようにチェックシートにて確認しスタッフからも外出の声掛けをしている。		
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	行事を決め、外出をすることがある。その際は、行きたいところなど伺っている。		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	制限なく行えている。必要に応じてスタッフも一緒にポストまでいったりと対応している。		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会の時間は大枠でしか設けておらずいつでも、訪問や外出など行えるようにしている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の基準など管理者より説明・勉強等行えている。		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外は鍵をかけないのを基本としているが、外出などで1Fに誰もいなくなったときなどは防犯上の都合にて鍵をかけることもあるが、玄関にて告知している。また、鍵をかける対応をした時は、管理者や各スタッフに連絡し出来るだけ鍵をかけなくて済む対応を考えてい		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	長時間居室にて過ごされている時など、訪室し確認をしている。夜間も2時間置きに巡回し、必要に応じて巡回している。		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の個々の能力に応じて持っていたが、事前に確認と保管方法を説明している。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒアリハットや事故報告を会議にて話し合いその都度再発防止に努めている。また、防火訓練など利用者と一緒に訓練できている。		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを用意している。		
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地元の消防所と共に避難訓練や避難場所の確認を行えている。また、緊急時用の食料などを保管している。		
72		<input type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	面会時や電話にて今後の可能性やリスクを説明し、一緒に対応策を話し合っている。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 7項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日頃からバイタル測定を行い観察し、食事量や水分量もチェックしている。対応としては主治医に連絡し指示を受け対応している。		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	毎食事、各利用者の薬の確認している。薬リストを個人ファイルに残し、いつでも確認できるようにしている。薬剤師からも、薬について説明を聞いている。		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	医師の指示のもとにて、必要な方には排便を促すお茶や薬を服用している。また、自然排便を促すように毎朝食後にヨーグルトなど食べていただいている。		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	個々の状態に合わせて口腔内を洗っていただいている。週に一度の訪問歯科を利用されている方は、医師や衛生士よりアドバイスを頂いている。アドバイスを頂いた事を、その他の利用者にも行っている。		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量はチェック表にて記入して確認している。また、献立表にて栄養が偏らないようにしている。	○	栄養学についても勉強会を行っていきたい。
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	1日2回の換気や手すり拭きなどおこなえている。感染予防のマニュアルでも確認し対応している。		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日食材の買い物に行き、新鮮な食材を使用している。台所周辺の衛生管理も日常的に行っている。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先を開放し、夜間以外はどなたでも出入りできるようにしている。		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせて花などを飾り、日中はカーテンを開けて日々の天気や庭の花など見ていただいている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースには、和室やソファなどそれぞれ好きな場所にて過ごしていただけている。		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は自由に持ち物を持ち込んでいただいている。危険なものや歩行の妨げにならないように話し合っている。		
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	1日2回換気を行っている。温度計にて冷暖房の調節や加湿器にて乾燥などにも気をつけている。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりなど設置しており、車いすを自走されるかたがおられても対応できるようになっている。		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレに表札をつけて、希望される方には居室にも表札をつけている。混乱された時はすぐにスタッフが対応している。		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやペランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花や植木など飾り、水やりなどを利用者にして頂いている。玄関にテーブルとイスを用意し、夏場などは日光浴などもしていただいている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ○ ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

建物内だけで生活を行わず、四季折々を肌で感じていただける様に日々取り組んでいます。

「グループホームで生活しているから諦めなければならない」という事を出来るだけなくし、利用者の希望に沿った支援を大切にしています。日々の暮らしの中での利用者の決定権を尊重し、発見や体験を利用者と一緒に共感しながらの生活を心掛けています。

評価結果整理表

個別表

	口のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
<ul style="list-style-type: none"> -1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有 -2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い -3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用 -4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制 -5. <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援 	<ul style="list-style-type: none"> 3 項目/3項目 3 項目/3項目 4 項目/5項目 7 項目/7項目 4 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
<ul style="list-style-type: none"> -1. <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 -2. <input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 4 項目/4項目 5 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
<ul style="list-style-type: none"> -1. <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握 -2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し -3. <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援 -4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 	<ul style="list-style-type: none"> 3 項目/3項目 2 項目/3項目 1 項目/1項目 10 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV-1. その人らしい暮らしの支援	
<ul style="list-style-type: none"> -1. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重 -1. (2) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 -1. (3) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 -1. (4) <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援 -1. (5) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 3 項目/3項目 5 項目/6項目 6 項目/6項目 7 項目/8項目 7 項目/7項目
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
<ul style="list-style-type: none"> -2. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり -2. (2) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 5 項目/5項目 3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (5項目 / 5項目) について

「その人らしく」の理念の基、スタッフが一丸となり日々取り組んでいます。各種外部研修や社内勉強会を通して今後も「その人らしく」に向けて取り組んでいきます。地域との係わりは消防訓練の参加や、地区運動会の参加等少しずつ広がってきていると感じます。今後も色々な方法を検討しながら連携を強めていききたいと思えます。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (2項目 / 2項目) について

快適な空間で個々のペースで過ごしていただくように取り組んでいます。利用者の意見や決定を尊重しながら、今後も共に生活を続けていくよう努めていきます。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (4項目 / 4項目) について

毎月のモニタリングやアセスメントを基に計画作成担当者を中心としてプランを作成し実施しています。より利用者の視線でポジティブなプランが作成できるよう努めていきます。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (7項目 / 7項目) について

スタッフが利用者寄り添い「その人」を少しでも知れるように取り組んでいます。利用者個々の希望に添えるように日々スタッフ間で話し合っています。各利用者の状態を見極め、その人に添った支援を今後も行っています。

V サービスの成果に関する項目について

多くの利用者が個々のペースで生活され、職員とゆったり過ごしながら暮らしています。利用者スタッフで意見を出し合いながら今後もこのような時間を大切にしながら生活していきたいと思えます。

★サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 グループホーム雅荘 1Fユニット

評価年月日： 21年 1月 29日

前回評価年月日： 20年 2月 1日

サービス項目番号	優先順位	内 容	取り組み期間 (〇年〇月～ 〇年〇月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期評価実施時期
7	1	評価の意義の理解と活用	21年2月～ 22年1月	計画表を基に見直しを行っていく		平成 22年 1月
36	2	チームで作る利用者本位の介護計画	21年2月～ 22年1月	実施したアンケートを基にプランの作成を行っていきたい		
55	3	本人の嗜好の支援	21年2月～ 22年1月	アルコーレに関して個人の意見を尊重して、提供を検討していきたい		
77	4	栄養摂取や水分確保の支援	21年2月～ 22年1月	栄養学についての勉強会の開催		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしく健康に・快適に・安心に」の理念の下、日々ケアにあたっている。		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入社時や業務中、勉強会の場で常に理念の確認・共有を行っている。		
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	パンフレットに理念を掲載し、玄関にも理念を掲示している。また、今年から作成が始まった広報誌にも理念を記載している。		
理念と共有 3項目中 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	買い物や散歩をしている際に気軽に声を掛けて下さったり、大根等の新鮮な野菜を届けて下さっており日常的なお付き合いをさせて頂いている。		
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の地蔵盆や組運動会に参加させて頂き、地元の方々も雅荘を近く感じると言ってくださっている。		
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	坂本市民会館を通じ坂本地区の事業所が集まり、地域への貢献方法を話し合っている。		
地域とのつきあい 3項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・並びに外部評価の意義を勉強会で確認を行い、前年度の評価も踏まえ各職員が改善案を立てながら業務を行っている。現状では全てを改善できてはいない。	○	整理表や計画表を基に見直しを行っていききたい。
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日頃の活動報告や取り組みを運営推進会議で話し合い、各種助言等をいただき、サービスの向上に活かしている。		
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センター主催の勉強会等へ参加し、質の向上に取り組んでいる。		
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	左記事業・制度利用者が実際に荘内におられるので、資料を用いて制度への認識を高めている。		
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を設け、滋賀県内の施設で実際にあった虐待や身体拘束の例を確認しあう事で注意喚起・防止に努めている。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用開始前から説明を行い、利用開始時に重要事項説明書や契約書により説明し、随時確認をとりながら話をしている。		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や、介護相談員制度を活用し利用者が本心を表す事が出来る機会を設けている。		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	職員が自筆で書いた手紙と暮らしぶりのわかる写真を添えて報告のお便りを出している。また独自の新聞を作成し家族向けに配布している。		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	密接な連絡を家族ととっており職員に伝えやすい環境作りは出来ている。また苦情受付の説明書きも設置しており、前述の介護相談員活用も家族に連絡している。		
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に行われる法人内の管理者会議や事業所の会議を通じて意見交換等がある。		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	月毎の勤務表にて職員を配置し、必要に応じて臨機応変に対応できるように話し合っている。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフの異動は必要最低限に控え、異動が必要な時も検討を重ねている。		
理念を実践するための体制 7項目中 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社時にオリエンテーションで研修を行い、県社協やGH協会の研修に参加している。		
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に参加し、同業者と交流する機会を持ち、他事業所と相互訪問等を通じサービスの質の向上に取り組んでいる。		
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	経営者も参加しての法人内での忘年会を行い、経営者自ら職員の意見の聴衆を行い、ストレスの軽減に取り組んでいる。		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている			
人材の育成と支援 4項目中 項目					

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の面接時にゆっくりと時間をかけて話をし、希望に即したケアを行う努力をしている。		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の相談や見学時に、ご家族からの生活面での希望や不安な事柄を十分お聞き出来る様に配慮している。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の状態を加味し、各種サービスを受ける事が可能であることを説明している。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	出来る限り事前にホームの雰囲気を感じて頂いた上で入居して頂き、入居後はまず食事・入浴・排泄が安心して行える事が出来る様にその方の出来る事を見ながらケアを行っている。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒にテレビを見て笑い、一緒に食事をして楽しみ、一緒に景色を見て感動をする、そういった共有の関係を築く様努力している。		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時や各種電話連絡時に必ず利用者の現況をお伝えし、助言や提言を頂く様にしている。		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者から聞ける家族の話題を、失礼の無い範囲で職員で共有し、関係を知る事に努めている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いきつけの美容院や食事処は、場所を利用者や家族からお聞きし、極力いける様にしている。	○	遠方地が多く、全て行けている訳では無いので今後、一箇所ずつでも行ける様にしていきたい
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	生花育成や調理等、共通するご趣味や好きなものは出来る限り共有して楽しんで頂いている。		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去された利用者のご家族が各スタッフをととても気遣って下さり、一同非常に感謝している。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中での利用者との関わりや会話の中で、本人の希望やどんな事をしていきたいかについて聞き取るように努めている。また、困難な場合は代替案を提案している。		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前・入居後に確認し随時記録を残す様になっている。		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	各利用者の生活ペースや心身の状態、出来る事を随時記録に残し、またその情報を申し送りや会議、勉強会で共有している。		
一人ひとりの把握 3項目中 項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者本人から意向を聞く他、家族には入所時や面会時に意向を聞く様努めている。それに基づいて計画作成担当者が作成したプランを職員が会議にかけ実行に移している。	○	全ての関係者と共に作成出来ていないのが現状である。アンケート用紙等を活用し意向や要望を取り入れながら、家族を含めた計画をたてていきたい。
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヶ月に一度見直しを行い、また毎月末にモニタリングシートを用いた振り返りを行っている。その際に出た問題点や改善点は極力関係者から意向を聞き反映させる様になっている。		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の発言や行動からの気づきや感じた事、その時の対応を記録に記入し共有している。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の希望・要望に出来る限り応じるべく支援を行っている。利用者の居室で宿泊して頂く事も可能である。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議で民生委員から地域の行事や取り組みについて意見をいただき、避難訓練時に民生委員も参加して下さった。		
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要性がある場合は地域包括支援センターが主となり話し合いを行っている。		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	困難事例や必要に応じて地域包括支援センターと話し合いを設けている。		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時にホームの協力医療機関の説明を行い、納得のいく主治医を選択して頂く事が出来る。		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医からも認知症に対してのアドバイスを頂けるが、必要に応じて専門医療機関へも通院している。		
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者がかかっている医療機関の看護師と状態等を相談しながら、健康管理の支援を行っている。		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院された場合は病院関係者を含めたカンファレンスを必要時に設けている。		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合に家族を含めた関係者と密に話し合いを行い、利用者にとってより良い支援方法を話し合っている。		

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者の健康状態をスタッフからの視線と主治医からの視線で話し合い、取り組んでいる。		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退去時等に関係者と協議し極力ダメージを防ぐように努めている。		
地域資源との協働 10項目中 項目					


自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	声掛けは敬意の気持ちを大切に、自然体で関わる様にし過度な丁寧さは出さない様になっている。トイレ誘導時等も周囲の耳に注意を払い小声で行っている。個人情報も目に触れにくい棚に保管する様になっている。		
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の決定権を最優先としながら、その人の力に合わせて対応し、選択をして頂いている。		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	安心して日々を快適に過ごして頂けるように、利用者のペースに合わせてながら、やりたいことや関心のあることを引き出し、支援に繋げるように努めている。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	パーマをあてたい等の希望を伺い、希望にあった理美容院へ行って頂いている。		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みを伺い利用者と共に買い物に出かけている。各利用者が行える作業を把握して食事の準備や片付けを行って頂いている。		
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつなど希望があれば買い物へ一緒に出かけ購入して楽しんで頂けるよう支援している。		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の失敗が多い方は、排泄のパターンを確認した上でパターンに沿って声掛け、トイレ誘導を行う様支援している。		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	他の利用者との兼ね合いで希望された日や時間帯に入浴できないことがあるが、入浴できる日や時間をお伝えしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	各利用者のその日の体調や状態、状況に応じて就寝して頂いている。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴を参考にしてショッピングや園芸等個々にあった役割や楽しみごとをもって頂き生活を送って頂いている。		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭感覚が不安な方でも一緒に買い物に行って使用して頂けるように支援している。		
61	25	<input type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩やドライブの希望があれば天候に合わせて出かけられる様に支援している。	○	希望そのものが少なくなってきたので、スタッフからの環境作りをしていきたい。
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	すぐにいけない事もあるが、希望に沿い日程を組み、外出できる様に支援している。		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があればホームに設置している電話を使用して頂いている。携帯電話を持ち込んでの方おられるので、使い方などを支援している。		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会の時間は大枠でしか設けておらずいつでも、訪問や外出など行えるようにしている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会を設け、実例も交え身体拘束による苦痛をスタッフが理解し、拘束しないケアに取り組んでいる。		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	他フロアに通ずる階段やエレベーターの施錠は行っていない。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は常時スタッフがリビングで状況把握を行い、夜間は定期的な巡視で安全面の配慮を行っている。		就寝時施錠される利用者には事前に見回りの為開錠させて頂く事がある事を説明している。
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	鋏や包丁等使用して頂いているが、見守りは大前提として利用者の能力に応じた使用をいただいている。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハット報告書を活用し、管理者・職員共に会議等で見直しを行い事故防止に取り組んでいる。また、万が一の事故発生時においても事故報告書を職員主導で作成し全て見直しを行う。		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルの用意、救命講習を受けており、協力医療機関の医師からも応急手当の基礎を確認している。		
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防隊の協力を仰ぎ日中・夜間それぞれを想定した避難訓練をおこなっており、その際に運営推進会議に参加して頂いている民生委員の方々にも参加して頂いている	○	ユニットが建物の2階にあるということも踏まえ、利用者自身が避難行動をとりやすい様に定期的な独自の避難訓練も行っていきたい。
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	面会時や電話連絡時などに今後起こりえるリスクの説明を行い、その事柄に対して取る対応策もお伝えしている。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日頃からバイタル測定を行い、食事量や水分量も記録・情報の共有を行いながら異変の発見に努めている。異変時は即時かかりつけ医に連絡を取り指示を仰いでいる。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬リストをスタッフが常に確認できる状態にしている。又、薬剤師より各薬品の取り扱い方を確認している。		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	果物・野菜等の繊維質摂取で極力自然排便して頂ける様に努めているが、排便が難しい方については医師の指示で下剤の使用もさせて頂いている。		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	個々の状態に応じ口腔ケアをして頂いている。又、希望に応じて週1回歯科衛生士の訪問を受けており口腔内を確認して頂いている。		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	医師に相談をしながら適切な食事量や水分量を考えて支援している。また献立表を全て残しておりバランスの良い食事にも配慮している。		
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防マニュアルや市県からの通達をスタッフで熟読し、実行に移している。手洗いやうがい、共有スペースの清潔保持は欠かさず行っている。		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	買い置きはせず、日々買い物に出向き新鮮な食材をしようしている。また台所内はまな板の熱湯消毒を行う等して清潔保持に努めている。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関まわりは植樹・清掃等で安心感のある雰囲気を出しており、駐車スペースもご家族用を確保できている。		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一輪挿しを用いて花を生けたり、季節感の見えるポスターを貼る等して居心地の良いスペース作りをしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースに設置しているソファやテーブルで本を読んだり会話を楽しんだりしていただいている。		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の希望されるものは原則自由に持ち込んで頂いている。		ただし火災の恐れのあるもの(ストーブや着火道具)は本人・ご家族に説明をして持ち込んで頂いてない。
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	定期的に換気を行い、冬季は加湿器の使用をしている。また脱衣所等フロア各所の寒暖差がない様に温度調整を心がけている。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロア各所には手すりを設け、またコーナ保護をし激突防止に努め、安全で自立した生活をして頂ける様にしている。		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室に雰囲気損ねない表札をつけ、利用者の方にも自室だと確認して頂ける様にしている。トイレは扉の形を変え、トイレマークをつけて区別出来る様にしている。		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花や野菜を育てているプランターをベランダ等に置いて楽しんで頂いている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ○ ④ほとんどいない
		買い物などで極力外に出かけられる様にはしているが、外出希望はなかなか叶えられていない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ○ ④ほとんどない
		ご家族の面会のみにも留まっている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

建物内だけで生活を行わず、四季折々を肌で感じていただける様に日々取り組んでいます。

「グループホームで生活しているから諦めなければならない」という事を出来るだけでなく、利用者の希望に沿った支援を大切にしています。

日々の暮らしの中での利用者の決定権を尊重し、発見や体験を利用者と一緒に共感しながらの生活を心掛けています。

評価結果整理表

個別表

		口のチェック項目数
I 理念に基づく運営		
一1.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
一2.	<input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	3 項目/3項目
一3.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	4 項目/5項目
一4.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
一5.	<input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		
一1.	<input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
一2.	<input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	5 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		
一1.	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
一2.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2 項目/3項目
一3.	<input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
一4.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		
IV-1. その人らしい暮らしの支援		
一1. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
一1. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
一1. (3)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	5 項目/6項目
一1. (4)	<input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	8 項目/8項目
一1. (5)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		
一2. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
一2. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (5項目/5項目)について

「その人らしく」の理念の基、スタッフが一丸となり日々取り組んでいます。各種外部研修や社内勉強会を通して今後も「その人らしく」に向けて取り組んでいきます。地域との係わりは消防訓練の参加や、地区運動会の参加等少しずつ広がってきていると感じます。今後も色々な方法を検討しながら連携を強めていきたいと思えます。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (2項目/2項目)について

快適な空間で個々のペースで過ごしていただくように取り組んでいます。利用者の意見や決定を尊重しながら、今後も共に生活を続けていくよう努めていきます。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (4項目/4項目)について

毎月のモニタリングやアセスメントを基に計画作成担当者を中心としてプランを作成し実施しています。より利用者の視線でポジティブなプランが作成できるよう努めていきます。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (7項目/7項目)について

スタッフが利用者に寄り添い「その人」を少しでも知れるように取り組んでいます。利用者個々の希望に添えるように日々スタッフ間で話し合っています。各利用者の状態を見極め、その人に添った支援を今後も行っています。

V サービスの成果に関する項目について

多くの利用者が個々のペースで生活され、職員とゆったり過ごしながら暮らしています。利用者とスタッフで意見を出し合いながら今後もこのような時間を大切にしながら生活していきたいと思えます。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 グループホーム雅荘 2Fユニット

評価年月日： 21年 2月 3日

前回評価年月日： 20年 2月 1日

サービス 評価項 目番号	優先 順位	内 容	取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
7	1	評価の意義の理解と活用	21年2月～ 22年1月	計画表を基に見直し を行っていく		平成 22年 1月
30	2	馴染みの人や場との関 係継続の支援	21年2月～ 22年1月	利用者の意向を把握し て、希望に沿った外出 に取り組む		
36	3	チームで作る利用者本位 の介護計画	21年2月～ 22年1月	実施したアンケートを基 にプランの作成を行っ ていきたい		
61	4	日常的な外出支援	21年2月～ 22年1月	利用者の希望を聞き逃 さずに外出支援を行っ ていく。		
71	5	災害対策	21年2月～ 22年1月	2Fにあるユニットからの 避難を想定した独自の 訓練		